

高齢者を見守りたい！

テーマ名 IoT を活用した高齢者見守りの仕組みの構築

希望する提案のイメージ

- ・IoT を活用した、一人暮らし高齢者を見守る仕組みの提案を希望
- ・対象者の異変を感知し、自動的に関係者に伝達する仕組み
- ・サービス展開に対し、市が推奨し、バックアップする形が希望

提案者側のメリット

- ・SDGs の理念に基づき、自治体との連携による地域課題解決に向けた取り組みを行っている企業であることを前面に掲げることで、訴求力のある企業 PR とステータス向上を図ることが可能。
- ・本市 HP 等で本取り組みを広報する際に、連携先として御社名を対外的に PR することが可能。
- ・本市での取り組みで取得する社会的データ(個人情報の扱いは別途協議)を共有し、御社サービス向上のために活用することが可能。

概要 ◎IoT を活用した、一人暮らし高齢者を見守る仕組みの構築



- ① 一人暮らし高齢者の異変を検知
- ② 安否確認
- ③ 家族に連絡



- ・日常生活の不安軽減
- ・日々の安否確認
- ・緊急事態の際の通報
- ・民間事業者が提供するセンサーや通報機器などの IoT を活用

市の現状・課題

- ・本市高齢化率→増加傾向 R5:31.1%⇒R22:37.5%(推計)
- ・本市の一人暮らし65歳以上高齢者数→増加傾向
R1:20,169人⇒R5:22,253人(各年6月末現在)

・支援を必要とする高齢者の増加、高齢者一人当たりの現役世代人数が減少
⇒見守り・安否確認など生活支援の必要性が増大、支える体制づくりが課題

留意点・制約等

- ・現時点で予算化の予定はないが、市として有益性が見込めた場合は次年度以降の予算化を検討
- ・省コストで、利用者の負担が極力少ない方法
- ・見守りサービスの範囲・規模は、予算や技術的な手法の確認・相談の上で決めた
- ・過疎地域など、地区を限定したモデル事業から開始することを想定

募集期間 随時

担当部署

所属名:健康福祉部 長寿福祉課 長寿福祉係

(問い合わせ先)

電話:024-525-7656

mail:tyoujyu@mail.city.fukushima.fukushima.jp